

食育ってなに？

国民が健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進することなどを目的とした「食育基本法」が平成17年7月に施行されました。現在、食生活を取り巻く環境が大きく変化し、食生活の多様化が進む中で、朝食抜きや絶え間ない間食など、子どもたちの食生活の乱れが指摘されています。子どもが将来にわたって健康に生活できるように、栄養や食事の摂り方などについて「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を身につけられるようにすることが、この法律の大きな目的のひとつです。

特に、学校における食に関する指導として、家庭や地域と連携して食育の充実を担う「栄養教諭」制度が創設されました。この栄養教諭の配置については、都道府県教育委員会の判断によるため、現在検討、協議が重ねられています。

羽村市の食育の現状

羽村市教育委員会では、小作台小学校が先進的な取り組みとして、羽村・瑞穂地区学校給食組合や西多摩保健所などと連携し、専門家による食育の授業を推進しています。

具体的な食に関する指導としては、

① 肥満、偏食、食物アレルギーなどの児童生徒に対する個別指導

② 学級活動、教科、学校行事などの時間に、学級担任などと連携して、集団的な食に関する指導

③ 他の教職員や家庭・地域と連携した食に関する指導を推進するための連絡・調整を行っています。このほかにも、羽村市や瑞穂町で収穫された地元産の農産物を学校給食の材料にする「地産地消」の取り組みや、学校農園などを利用して、児童自らが農産物を作り、収穫する喜びを体感させることも行っています。

今後も、これらの教育活動を総合的かつ計画的に行い、児童・生徒の食に対する意識向上や学校から家庭に対する効果的な働きかけを進めていきます。食育は、学校だけでなく、地域、そして何よりも家庭が中心となり、それぞれが連携して進めていくことが求められています。



栄養士による小作台小学校の食育授業

小・中学校の行事予定 4月～6月

詳しくは、各学校にお問合せください。

- 羽村東小学校
 - 4月29日(土) 学校公開
 - 5月24日(水)～27日(土) 学校公開
 - 5月27日(土) 運動会
- 羽村西小学校
 - 5月19日(金)～20日(土) 学校公開
- 富士見小学校
 - 5月22日(月)～23日(火) 学校公開
- 栄小学校
 - 5月20日(土) 運動会
 - 5月23日(火)～26日(金) 学校公開
 - 5月26日(金) セーフティ教室
なかよし班 花植え
 - 6月11日(日) 農業体験「田植え」

- 松林小学校
 - 5月27日(土) 運動会
 - 6月17日(土) 学校公開
- 小作台小学校
 - 5月27日(土) 運動会
 - 6月27日(火) 学校公開
- 武蔵野小学校
 - 5月12日(金) 授業参観
 - 5月27日(土) 運動会
- 羽村第一中学校
 - 5月20日(土) 道徳地区公開授業
 - 6月17日(土) 体育大会

- 羽村第二中学校
 - 4月17日(月)～21日(金) 学校公開
 - 5月 8日(月)～12日(金) 学校公開
 - 6月19日(月)～23日(金) 学校公開
- 羽村第三中学校
 - 5月20日(土) 学校公開



中学生の活躍

羽村第一中学校ソフトテニス部 全国大会に出場

羽村第一中学校男子ソフトテニス部(2年生小澤英男さん・萩田晃士さん)は、第49回東京都中学校新人ソフトテニス大会男子個人戦で優勝し、三重県で行われた第49回全日本中学生ソフトテニス大会に出場しました。



羽村第一中学校吹奏楽部 サクソフォーンソロで 全国大会に出場

羽村第一中学校吹奏楽部(2年生志村絃章さん)は、文京区で行われた第7回日本ジュニア管打楽器コンクール本選考会に出場しました。



羽村第一中学校吹奏楽部 金管八重奏 全国大会に出場

羽村第一中学校吹奏楽部金管八重奏が、第29回東京都アンサンブルコンテスト及び、第29回全日本アンサンブルコンテストで金賞を受賞しました。



入学式 の日程

小学校

4月6日(木)

中学校

4月7日(金)



I N F O R M A T I O N

生涯学習センターゆとろぎ
図書館 **Tel.570-0707**
郷土博物館 **Tel.554-2280**
スポーツセンター **Tel.558-2561**
スイミングセンター **Tel.555-0033**
弓道場 **Tel.579-3210**
Tel.555-9255

羽村東小学校 **Tel.554-5663**
羽村西小学校 **Tel.554-2034**
富士見小学校 **Tel.554-6449**
栄小学校 **Tel.554-2024**
松林小学校 **Tel.554-7800**

小作台小学校 **Tel.554-1431**
武蔵野小学校 **Tel.555-6904**
羽村第一中学校 **Tel.554-2012**
羽村第二中学校 **Tel.554-2041**
羽村第三中学校 **Tel.555-5131**

教 育 随 想

プラスの視力で

先日、あるデパートのランドセル売場で新年生らしき子とその母親の会話を耳にした。

「さあ、もう一年生なんだから、しっかり勉強しなくちゃね。」傍らで息子は、誇らしげな表情の中に大変なことになったという戸惑いも隠せない様子だった。ふと、私は思った。「もう二年生なのに(なぜわからないの)」と「まだ一年生なんだから(むりないわね)」では、両極端の表現になる。「まだ・・・」と表現することは、温かさや柔軟性を持って接することであり、決して甘やかすことではない。そのうえ、「まだ・・・」という表現は、私たちの思考や感性を若々しくする。私たちは、何時でも「プラスの視力」を持って人や物に接したいものだ。そう、私も「まだ六十二歳」なのだ。

教育委員 印南圭子

